

平成19年度入試における日本留学試験 利用渡日前入学許可実施状況について

日本学生支援機構では、平成19年4月に、平成19年度私費外国人留学生の入学選抜に日本留学試験を利用して渡日前入学許可を実施大学(四年制大学63校、短期大学10校)に対して、実施状況についての調査を実施しました。

1 日本留学試験を利用した渡日前入学許可

外国人留学生の入学選抜に日本留学試験の成績を利用して、国外から直接出願を受け付け、入学選抜のために出願者に渡日させることなく入学を許可する制度のことをいいます。

従って、本調査では、日本留学試験を日本国内の会場で受験した者からの出願については除外してあります。

2 調査結果

大学数 (単位:校)

		実施大学数		出願者があった		合格者があった		入学者があった	
			()		()		()		()
四年制大学	国公立	16	(16)	7	(5)	5	(4)	2	(1)
	私立	47	(43)	20	(18)	19	(18)	14	(16)
四年制大学計		63	(59)	27	(23)	24	(22)	16	(17)
短期大学	私立	10	(11)	1	(0)	1	(0)	0	(0)
合計		73	(70)	28	(23)	25	(22)	16	(17)

()内数字は、平成18年度入試の調査結果

出願者(延べ)、合格者(延べ)及び入学者数 (単位:人)

		出願者数		合格者数		入学者数	
			()		()		()
四年制大学	国公立	15	(9)	6	(4)	2	(1)
	私立	296	(205)	121	(85)	70	(51)
四年制大学計		311	(214)	127	(89)	72	(52)
短期大学	私立	1	(0)	1	(0)	0	(0)
合計		312	(214)	128	(89)	72	(52)

()内数字は、平成18年度入試の調査結果

出願者(延べ)、合格者(延べ)及び入学者の出身国・地域 (単位:人)

国・地域名	出願者数		合格者数		入学者数	
		()		()		()
韓国	291	(197)	118	(79)	67	(43)
モンゴル	7	(0)	3	(0)	2	(0)
ミャンマー	5	(8)	2	(6)	1	(5)
台湾	3	(5)	1	(1)	0	(1)
インドネシア	2	(2)	1	(1)	1	(1)
ベトナム	2	(1)	2	(1)	0	(1)
マレーシア	1	(1)	1	(1)	1	(1)
シンガポール	1	(0)	0	(0)	0	(0)
合計	312	(214)	128	(89)	72	(52)

()内数字は、平成18年度入試の調査結果

3 調査を終えて

平成19年度入試に係る日本留学試験を利用した渡日前入学許可実績調査結果によると、延べ312人の出願者(昨年度は延べ214人)があり、平成18年9月入学者1人を含め72人(昨年度は52人)が入学を果たしたことが判明しました。また、国立大学にも2人(昨年度は1人)の入学者がありました。

合格者128人に対して入学者が72人であったことから、複数の大学から入学許可を受けた者が多かったと推測できます。

また、確認のとれた11大学(一部学部の大学を含む。)に合格した50人のうち21人が私費外国人留学生学習奨励費の予約者でした。

出願者の受験した国・地域を見ると、例年どおり韓国が延べ291人と一番多く、次いでモンゴル7人、ミャンマー5人、台湾3人、インドネシア2人、ベトナム2人、シンガポール、マレーシアそれぞれ1人でした。

渡日前入学許可実施の四年制大学が59大学から63大学と増加し、また、大学自身の広報等の努力もあり、昨年度を上回る出願者、入学者がありました。このことから、日本留学試験を利用した渡日前入学許可が着実に浸透してきたことが窺えます。

しかし、渡日前入学許可が浸透してきたことにより国外の教育機関関係者及び日本留学希望者などからは日本留学試験合格目安点の公表を望む声が強まり、一部実施大学の目安点の公表が開始されてきていますが、留学希望者の大学選びがより行い易くなるよう、実施大学において、一層、目安点の公表が必要となっています。